

「米州の盾（Shield of the Americas）」

「トランプ大統領は中南米における軍事的影響力を拡大している」

これは 2026 年 8 月のスペイン El PAIS 誌に掲載された記事のタイトルですが、トランプ政権の中南米・カリブ諸国における真の意図、つまり米国が伝統的に自国の裏庭と考えてきたこの地域を再び支配するという意図を解説しています。これをベースにトランプ政権と中南米・カリブ諸国の関係を整理してみましょう。

米国の西半球における「優位性の回復」を目指す「ドンロー主義」や、トランプ大統領が発足させた連合体である「米州の盾」、親米右派政権の急増「トランプ・ベルト」現象、そして軍事進攻も厭わない米国の触手が中南米各国に及んでいることが見えてきます。

米トランプ政権の外交姿勢（2026 年 8 月末時点）

- **「ドンロー主義」**：西半球での米国優位性の回復を掲げ、中国・ロシア・イランの影響力を排除する戦略。
「米州の盾（Shield of the Americas）」：麻薬カルテル・人身売買・不法移民対策のための親米右派連合。これは麻薬対策というまともな目的に名を借りた巧妙な親米取り込み戦略に見える。アルゼンチン、エルサルバドル、エクアドル、ホンジュラス、チリなどが参加。17 か国に広がっている。
- **親米右派政権の急増（トランプ・ベルト）**：中南米で右派・親米政権が連鎖的に誕生しているのには「米州の盾」で見られるような麻薬対策支援の即効性や中国の影響力後退、右派政権の治安重視政策が米国と一致していること、米国の軍事・経済圧力による揺さぶりなどで加速している。2019 年のエルサルバドル大統領選を皮切りに、アルゼンチン、エクアドル、ボリビア、ホンジュラス、チリ、コロンビア、ペルーで保守系政権が誕生し、この 7 年間で中南米 8 カ国が左派政権から親トランプ右派政権へと移行した。これらの政権が共通しているのは、強硬な治安政策、不法移民統制、反社会主義、市場中心の経済政策と政府支出の削減を主張している点である。だが裏を返せば**中南米がまたぞろ米国の裏庭に陥る危険をはらんでいる**。
- **反米左派政権への圧力・軍事進攻も辞さず**：ベネズエラへの軍事作戦でマドゥロ大統領を拘束した。さらにキューバへの圧力を強化している。やがて軍事、経済両面で攻めてくる筈だ。**対イランで見せてきた米政権の砲艦恫喝外交の失策を今度は経済貿易戦争（イランと取引するすべての国に対する経済制裁）でかわすつもりらしい**。トランプ氏お得意のハッタリ振りといランのしたたかさを篤と拝見し、判断のよすがとしよう。

中南米・カリブ諸国の最新政治動向（2026 年 8 月）

 親米・右派（トランプ政権と協調）中南米の“トランプベルト”の中心。

コロンビア

- ・ 大統領：アベラルド・デ・ラ・エスプリエジャ
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：トランプが推した候補が勝利し、米国との安全保障協力を強化。

ペルー

- ・ 大統領：ケイコ・フジモリ
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：治安強化・市場重視でトランプ政権と政策が近い。

エルサルバドル

- ・ 大統領：ナイブ・ブケレ 右派政権（2019 年以降の右派転換）
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：米州の盾に参加。

アルゼンチン

- ・ 大統領：ハビエル・ミレイ 右派政権（近年の政権交代）
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：米州の盾参加、米国との鉱物資源協力が進展。

エクアドル

- ・ 大統領：ダニエル・ノボア 右派政権
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：米州の盾参加。

ホンジュラス

- ・ 大統領：ナスリ・アスフラ 右派政権（左派から転換）
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：米州の盾参加。

チリ

- ・ 大統領：ホセ・アントニオ・カスト 右派政権（左派から転換）
- ・ 傾向：親米・右派
- ・ ポイント：米州の盾参加、米国の右派巻き返しの象徴。

ボリビア

- ・ 大統領（選挙情勢）：ロドリゴ・パス 親米派が優勢
- ・ 傾向：右派化の可能性
- ・ ポイント：米州の盾参加、米国企業がリチウム資源にアクセスする可能性。

 反米・左派（米国と緊張）トランプ政権が圧力・軍事牽制を強める国々。

ベネズエラ

- ・ 大統領：ニコラス・マドゥロ/デルシー・ロドリゲス
- ・ 傾向：反米・左派
- ・ ポイント：米軍が南カリブ海で軍事作戦、マドゥロを拘束。

キューバ

- ・ 大統領：ミゲル・ディアス＝カネル
- ・ 傾向：反米・左派
- ・ ポイント：米国は制裁強化と対話の両面で揺さぶり。中国・ロシアの影響が強い。

メキシコ

- ・ 大統領：クラウディア・シェインバウム
- ・ 傾向：反米・左派
- ・ ポイント：トランプ大統領とは、移民問題や麻薬カルテル対策、関税・貿易措置を巡り、主権の尊重と協力を主張しつつも緊張と対立が続く関係にある。

ニカラグア

- ・ 大統領：ダニエル・オルテガ/ロサリオ・ムリージョ（共同大統領）
- ・ 傾向：反米・左派
- ・ ポイント：中国・ロシアと連携し米国と距離。

 中間・揺れ動く国（米中の中で均衡）

ブラジル

- ・ 大統領：ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ（左派）
- ・ 傾向：反米寄りだが完全ではない
- ・ ポイント：10月の大統領選で右派ボルソナロ長男陣営が台頭すれば地域の勢力図が激変。

パナマ

- ・ 大統領：ホセ・ラウル・ムリーノ 中道
- ・ 傾向：米国寄りに再傾斜
- ・ ポイント：一帯一路覚書を更新せず、中国との距離を調整。

まとめ(簡易マップ)

国名	大統領	親米/反米	右派/ 左派	備考
コロンビア	デ・ラ・エスプリエジャ	親米	右派	トランプ支持候補、8月大統領就任
ペルー	ケイコ・フジモリ	親米	右派	治安重視、8月就任
エルサルバドル	ナイブ・ブケレ	親米	右派	米州の盾参加
アルゼンチン	ハビエル・ミレイ	親米	右派	米州の盾参加、資源協力
エクアドル	ダニエル・ノボア	親米	右派	米州の盾参加
ホンジュラス	ナスリ・アスフラ	親米	右派	米州の盾参加、左派から転換
コスタリカ	(前ロドリゴ・チャベス) ラウラ・フェルナンデス	現 親米	右派	米州の盾参加
ドミニカ共和国	ルイス・アビナデル	中道	左派	米州の盾参加
ガイアナ	モハメド・アリ	親米		米州の盾参加
チリ	ホセ・アントニオ・カスト	親米	右派	米州の盾参加、親米右派巻き返し
ボリビア	ロドリゴ・パス	親米化の 可能性	右派化	米州の盾参加、リチウム資源
パラグアイ	サンティアゴ・ペニャ	中道	右派	米州の盾参加
トリニダード・トバゴ	クリスティン・カンガルー			米州の盾参加
グアテマラ	ベルナルド・アレバロ	中道	左派	米州の盾未確認
ウルグアイ	ジャマンドゥ・オルシ	中道	左派	米州の盾未確認
ベネズエラ	マドゥロ/デルシー・ロドリゲス	反米	左派	米が軍事作戦でマドゥロを拘束
キューバ	ディアス=カネル	反米	左派	中国・ロシア依存
メキシコ	シェインバウム	反米	左派	緊張と対立が続く
ニカラグア	オルテガ/ムリージョ (共同大統領)	反米	左派	中国・ロシアと連携
ブラジル	ルーラ 10月選挙	中間	左派	右派台頭の可能性

国名	大統領	親米/反米	右派/ 左派	備考
パナマ	ホセ・ラウル・ムリーノ	米寄りか	中道	米州の盾参加、一帯一路離脱、パナマ運河問題



「トランプ大統領は中南米における軍事的影響力を拡大している」

LA CUMBRE 'ESCUDO DE LAS AMÉRICAS' CELEBRADA EN MIAMI, EL 7 DE MARZO.

FOTO: KEVIN LAMARQUE (REUTERS) | VÍDEO: EPV

・「米州の盾（Shield of the Americas）」：麻薬カルテル・人身売買・不法移民対策のための親米右派連合。アルゼンチン、エルサルバドル、エクアドル、ホンジュラス、チリなどが参加。